

トトロの森 45号地、47号地～50号地の植生と管理方針

川越 みなみ・児嶋 翼
(トトロのふるさと基金 調査部会)

要旨

トトロの森 45号地、47号地～50号地の調査の結果を示すとともに、それらを踏まえた管理方針について提言を行った。45号地はコナラが優占した。45号地はコナラ、ヤマツツジを植栽した雑木林を目指す。47号地はニセアカシアが優占し、下層植生としてはアズマネザサが繁茂していた。コナラ、カシワ、イヌザクラ等を主体とした落葉広葉樹の森を目指す。48号地はモウソウチクが優占した。管理の行き届いた明るい雑木林を目指す。49号地と50号地はコナラが優占した。49号地と50号地の管理方針は今後検討していく。

キーワード: 里山；多様性；雑木林

はじめに

里山林、あるいは雑木林などと呼ばれる里地地域の二次林は、かつて農用林、薪炭林などとして利用され、人為的な植生管理によって維持されてきた。また、十数年に一度の定期的な伐採、毎年の下草刈りや落ち葉掻きなどの集約的な管理がなされることで、様々な遷移段階の植生が維持され、地域生態系全体で生物多様性が保全されていた（辻・星野 1992；大久保ほか 2003）。しかし、1950年代に始まる高度経済成長期における燃料革命や化学肥料の普及など、生活様式の変貌に伴って、雑木林の存在価値は低下し、植生管理は放棄され、植生遷移が進行した。定期的な植生管理が放棄されたことにより、生育を抑制されていたアズマネザサや低木類が生長し、低木層において優占する結果、地表付近は暗くなり、光をめぐる競争で不利な立場に置かれた草本植物は消失すると考えられている（加藤・谷地 2003；山崎ほか 2000）。

里地地域における多様な植物相の保全を図るためには、地形や土壌といった地域の土地自然を把握し、多様な土地自然条件がもたらす植生構造の違いを明らかにすると同時に、適正な植生管理によって成立する様々な遷移段階における植生構造を把握することが重要である（大久保ほか 2003）。

公益財団法人トトロのふるさと基金では、狭山丘陵の里山景観の保全を目的として、土地の買い取りによる里山面積の確保と管理を行っている。トラスト地として取得時には、管理放棄されて30年程度経過した状態であるものが多い。これまで取得されてきたトラスト地については、深澤（2010）、川越（2011、2012、2013、2014、2015、2017）、川越・横山（2018）により、全体を単一の方法で管理するよりも、さまざまな管理方法の場所が入り混じっている方が、全体としての生物の多様性は高くなるとの観点から、トラスト地の管理方針の提案が行われてきた。

本報告では、2018年～2019年に新たに取得されたトトロの森 45号地、47号地～50号地の植生

の現状の調査結果を記述し、今後の適切な管理方針について提言を行う。

調査地概要

調査地は、トトロの森 45号地、47号地～50号地である。

45号地は2017年11月21日に取得された。面積は287 m²である。トトロの森1号地にある斜面の上部の尾根道沿いにあり、1号地に接している(図1)。

47号地は2018年2月20日に取得された。面積は7,396 m²である。現時点のトトロの森で最大面積の森である。狭山丘陵の南斜面に位置し、東大和市と武蔵村山市の市境にある。全域が東大和市都市計画芋窪緑地の区域に含まれる。宅地開発や墓地計画といった開発の恐れがあった。近隣にはトトロの森40号地がある(図2)。

48号地は2018年3月23日に取得された。面積は583 m²である。トトロの森15号地の南側に隣接し、トトロの森1号地に向かう緑地の入り口にあたる(図3)。

49号地は2019年3月19日に取得された。面積は1,208 m²である。所沢市堀之内地区の比良の丘と金仙寺のほぼ中間にある。散策路に面しており、墓地と市道を挟んだ場所にある(図4)。

50号地は2019年4月3日に取得された。面積は1,743 m²である。トトロの森29号地から「どんぐりの小道」と呼ばれる歩行者専用の小道をたどって下った終点にある(図5)。

調査方法

1. 環境条件の評価

各調査地の環境条件を評価するために、斜度、土壌 pH、土壌硬度の測定を行った(表1)。土壌硬度の測定には、山中式土壌硬度計を用いた。45号地は全体でランダムに3ヶ所、47号地、49号地及び50号地は上層木調査用の10m×10mの各コードラート内で3ヶ所ずつ計15ヶ所、48号地は全体でランダムに9ヶ所測定を行った。

調査は、45号地は2018年10月26日、47号地は2018年11月1日、48号地は2018年10月17日、49号地は2019年6月12日、50号地は2019年6月12日に行った。

2. 上層木

地上から生えている胸高直径1cm以上の木本植物について、種名および幹周(cm)を記録した。

47号地と49号地は調査地内に10m×10mのコードラートを5ヶ所設置し調査を行った(図6、図7)。45号地、48号地と50号地は調査地全体で調査を行った。

得られたデータから、樹種ごとに胸高直径(DBH)(cm)の平均値と、胸高断面積(BA)合計(cm²/100 m²)を算出し、上層木の現存量の指標とした。

胸高断面積合計とは、各立木の胸高断面積を合計したもので、森林の大きさを調べる指数である。以下の式で求められる。

$$\text{胸高断面積合計 (BA)} = (\text{胸高直径} / 2) \times (\text{胸高直径} / 2) \times 3.14$$

調査は、45号地は2018年10月26日、47号地は2018年4月21日、48号地は2018年10月17日、49号地は2019年5月31日と6月12日、50号地は2019年6月12日に行った(表1)。

3. 下層植生

1m×1mのプロットをランダムに設置して調査を行った。47号地と49号地は上層木調査用の10m×10mの各コードラート内に、5ヶ所ずつ計25ヶ所、45号地と48号地は調査地全体で10ヶ所、50号地は調査地全体で20ヶ所設置した。

設置したプロット中の草本植物および胸高直径1cm未満、高さ1m未満の木本植物について、種名、被度(%)および高さ(cm)を記録した。プロットあたりの出現頻度(%)から、常在度を算出した。常在度は、I: 20%未満、II: 20-40%、III: 40-60%、IV: 60-80%、V: 80-100%を示す。

調査は、45号地は2018年10月26日、47号地は2018年9月29日、48号地は2018年10月17日、49号地は2019年6月12日、50号地は2019年6月20日に行った(表1)。

植生の現状と管理方針

1. 45号地

1-1. 植生の現状

上層木としては、8種を記録した(表2)。コナラは調査地100m²あたり597.2cm²の胸高断面積合計を占め、優占した。胸高断面積合計で見ると、ヒマラヤスギに次いでツバキが調査地100m²あたり42.0cm²、ヤマザクラが31.8cm²出現した。本数はアオキが最も多かったものの少なく、調査地100m²あたり1.0本出現した。

下層植生としては、35種を記録した(表3)。アズマネザサが調査地1m²あたり被度15.90%、常在度Vで出現し、優占した。

埼玉県レッドデータブックの準絶滅危惧に指定されているカンアオイが調査地1m²あたり被度0.40%、常在度Iで出現した(埼玉県環境部自然環境課2011)。

上層木の本数、下層植生の被度がともに低く、裸地が多かった。

1-2. 管理方針

○コナラ、アズマネザサを植栽した雑木林

アズマネザサ、カキノキ、ユズを伐採する。隣接する1号地は針葉樹の巨木が多い薄暗い森であるので、ここは明るい雑木林とする。大半が裸地であるので、周辺の環境に合ったコナラ、クヌギ、ヤマツツジ等を植栽する。希少種は盗掘されないように保護する。

2. 47号地

2-1. 植生の現状

上層木としては、31種を記録した(表4)。ニセアカシアは調査地100m²あたり433.9cm²の胸高断面積合計を占め、優占した。胸高断面積合計で見ると、ニセアカシアに次いでナラガシワが調査地100m²あたり402.9cm²、コナラが296.2cm²、アカメガシワが169.7cm²出現した。本数はニセアカシアが最も多く、調査地100m²あたり17.0本、次いでナラガシワが10.6本出現した。アカマツが調査地100m²あたり0.8m²、調査地100m²あたり0.2本出現した。

下層植生としては、33種を記録した(表5)。下層植生調査対象外の高さ1m以上のアズマネザサが繁茂していた。ナンバンギセルやヤマウルシが出現したが、調査地1m²あたりの被度はいず

れも 1.0%以下と低く、高さ 1m 未満でもアズマネザサが被度 14.4%と優占した。ナンバンギセルは埼玉県レッドデータブックの準絶滅危惧に指定されている (埼玉県環境部自然環境課 2011)。

2-2. 管理方針

○コナラ・カシワ・イヌザクラ等を主体とした落葉広葉樹の森

近隣にある 40 号地と共通の管理を行う。常緑樹は除伐し、アズマネザサの繁茂を抑制するために定期的の下草刈りを実施する。近隣にある 40 号地では大径木のイヌザクラとウワミズザクラ、ヤマザクラの保全を行っている。47 号地では近年枯死の目立つアカマツは残すようにする。ヤマザクラ、ウグイスカグラ、ムラサキシキブ等の見て楽しめる中高木は残す。希少種の保全・育成に努める。

3. 48 号地

3-1. 植生の現状

上層木としては、20 種を記録した (表 6)。モウソウチクは調査地 100 m²あたり 2,442.2 cm²の胸高断面積合計を占め、優占した。次いでヒマラヤスギは調査地 100 m²あたり 996.6cm²の胸高断面積合計を占めた。胸高断面積合計でみると、スギが調査地 100 m²あたり 970.8cm²、コナラが 700.4cm²、ヒノキが 671.4cm²出現した。本数はモウソウチクが最も多く、調査地 100 m²あたり 23.7 本出現した。

下層植生としては、46 種を記録した (表 7)。テイカカズラが調査地 1m²あたり被度 39.20%、常在度IVで出現し、優占した。埼玉県レッドデータブックの準絶滅危惧に指定されているオオバノトンボソウが調査地 1m²あたり被度 0.40%、常在度Iで出現した (埼玉県環境部自然環境課 2011)。

3-2. 管理方針

○管理の行き届いた明るい雑木林

3 号地、15 号地とあわせて「チカタの森」として共通の管理を行う。モウソウチクを 2m 程度の距離間で残し、一部の竹林を保全する。ヒマラヤスギ、スギおよびヒノキといった針葉樹は可能な限り保全し、混交林を目指す。常緑樹や下草は定期的に取り除く。斜度が 21.4 度とややきついため (表 1)、落ち葉掃きの際には、土砂の流出に十分に注意する。コスモス、セイタカアワダチソウ等の外来種や園芸種及びツタやテイカカズラ等のツル性植物は適宜取り除き、オオバノトンボソウ等の希少種は保護育成する。

4. 49 号地

4-1. 植生の現状

上層木としては、24 種を記録した (表 8)。コナラは調査地 100 m²あたり 3,093.7cm²の胸高断面積合計を占め、優占した。胸高断面積合計でみると、コナラに次いでシラカシが調査地 100 m²あたり 660.1cm²、ヒサカキが 325.9cm²、ケヤキが 290.0cm²出現した。本数はシラカシが最も多く、調査地 100 m²あたり 14.8 本、次いでヒサカキが 13.4 本出現した。

下層植生としては、18 種を記録した (表 9)。調査地 1m²あたりテイカカズラが被度 21.04%、

次いでアズマネザサが 6.68% で出現し、優占した。テイカカズラは常在度IVで出現した。

5. 50 号地

5-1. 植生の現状

上層木としては、32 種を記録した (表 10)。コナラは調査地 100 m²あたり 833.7cm²の胸高断面積合計を占め、優占した。胸高断面積合計で見ると、コナラに次いでスギが調査地 100 m²あたり 225.0cm²、ウワミズザクラが 169.1cm²、ヒノキが 153.1cm²、シュロが 125.1cm²出現した。本数はコナラが最も多かったものの少なく、調査地 100 m²あたり 1.5 本出現した。

下層植生としては、65 種を記録した (表 11)。調査地 1m²あたりジャノヒゲが被度 11.30%、次いでブタナが 11.10% で出現し、優占した。アズマネザサは常在度Vで一番多く出現した。

引用文献

- 深澤遊 (2010) トラスト地とその周辺の植生. トトロのふるさと財団自然環境調査報告書 7.2-28
- Iida, S. and Nakashizuka, T. (1995) Forest fragmentation and its effect on species diversity in sub-urban coppice forests in Japan. *Forest Ecology and Management* 73.197-210.
- 加藤和弘・谷地麻衣子 (2003) 里山林の植生管理と植物の種多様性および土壌の化学性の関係. *ランドスケープ研究日本造園学会誌*. 66(5).521-524.
- 川越みなみ (2011) トトロの森 11 号地の植生. トトロのふるさと財団自然環境調査報告書 8:2-5
- 川越みなみ (2012) トトロの森 12 号地・13 号地・14 号地の植生と管理方針. トトロのふるさと基金自然環境調査報告書 9:2-10
- 川越みなみ (2013) トトロの森 15 号地・16 号地の植生と管理方針. トトロのふるさと基金自然環境調査報告書 10:3-9
- 川越みなみ (2014) トトロの森 17 号地・18 号地・19 号地の植生と管理方針. トトロのふるさと基金自然環境調査報告書 11:2-10
- 川越みなみ (2015) トトロの森 20 号地・21 号地・22 号地の植生と管理方針. トトロのふるさと基金自然環境調査報告書 12:2-10
- 川越みなみ (2017) トトロの森 23 号地～33 号地、37 号地の植生と管理方針. トトロのふるさと基金自然環境調査報告書 13:2-28
- 川越みなみ (2018) トトロの森 34 号地～36 号地、38 号地～40 号地、42 号地～44 号地、46 号地の植生と管理方針. トトロのふるさと基金自然環境調査報告書 14:2-27
- 前河正昭・中越信和 (1997) : 海岸砂地においてニセアカシア林の分布拡大がもたらす成帯構造と種多様性への影響. *日本生態学会* 47;131-143.
- 大久保悟・神山麻子・北川淑子・武内和彦 (2003) 多摩丘陵におけるコナラ二次林および林縁の草本層種構成と微地形との対応. *ランドスケープ研究日本造園学会誌*. 66(5).537-542.
- 埼玉県 (2011) 埼玉県の希少野生生物 埼玉県レッドデータブック 2011 植物編.
- トトロのふるさと基金 (2017) トラスト取得地. 公益財団法人 トトロのふるさと基金.
http://www.totoro.or.jp/intro/national_trust/index.html
- 辻誠治・星野義延 (1992) コナラ二次林の林床管理の変化が種組成と土壌に及ぼす影響. *日本生*

トトロのふるさと基金 自然環境調査報告書 15: 2-17. 川越みなみ・児嶋翼 (2019) トトロの森 45号地、47号地～50号地の植生と管理方針

態学会誌 42:125-136

山崎寛・青木京子・服部保・武田義明 (2000) 里山の植生管理による種多様性の増加：ランドスケープ研究, 481-484



図1 トトロの森45号地の位置図



図2 トトロの森47号地の位置図



図 3 トトロの森 48 号地の位置



図 4 トトロの森 49 号地の位置図



図5 トトロの森50号地の位置図

表1 45号地、47号地～50号地の斜度、土壌pH、土壌硬度。数値は平均値で示す

調査地	面積 (㎡)	土壌pH	土壌硬度 (mm)	斜度	調査日		
					環境条件	上層木	下層植生
45号地	288	7.07	12.9	8.1	2018年10月26日	2018年10月26日	2018年10月26日
47号地	7,396	5.89	10.4	12.2	2018年11月1日	2018年4月21日	2018年9月29日
48号地	583	5.14	11.3	21.4	2018年10月17日	2018年10月17日	2018年10月17日
49号地	1,208	6.46	3.9	13.9	2019年6月12日	2019年5月31日 2019年6月12日	2019年6月12日
50号地	1,743	6.37	9.2	6.9	2019年6月12日	2019年6月12日	2019年6月20日

45号地の100㎡あたりの上層木の本数、胸高断面積合計値(BA)、胸高直径(DBH)及び、1㎡あたりの下層植生(高さ<1.0m)の被度(%)と高さ(cm)を示す。

表 2. 上層木

種名	本数	DBH (cm)	BA (cm ² /100m ²)
アオキ	1.0	1.3	1.4
アズマネザサ	0.3	1.0	0.3
カキノキ	0.3	4.5	5.4
コナラ	0.3	46.8	597.2
シラカシ	0.3	4.8	3.1
ツバキ	0.3	12.4	42.0
ヤマザクラ	0.3	10.8	31.9
ユズ	0.3	7.6	15.9
種数	8		

表 3. 下層植生

種名	常在度	被度(%)	高さ(cm)
アオキ	Ⅱ	0.60	8.00
アズマネザサ	Ⅴ	15.90	28.00
イヌホオズキ	Ⅰ	0.30	9.50
ウグイスカグラ	Ⅰ	0.10	20.00
カゼクサ	Ⅰ	0.20	20.00
カラスウリ	Ⅲ	1.10	4.00
カンアオイ	Ⅰ	0.40	10.00
キツタ	Ⅱ	3.10	5.00
キツネノマゴ	Ⅰ	0.20	4.00
クサギ	Ⅰ	0.10	20.00
ケヤキ	Ⅰ	0.40	9.00
コナスビ	Ⅱ	0.50	5.33
サイハイラン?	Ⅰ	0.30	25.00
シソ	Ⅰ	0.20	8.50
ジャノヒゲ	Ⅲ	1.30	4.50
シラカシ	Ⅰ	0.30	25.00
スイカズラ	Ⅰ	0.30	17.50
スマレ	Ⅱ	2.50	5.25
タチツボスマレ	Ⅱ	0.30	3.00
タビラコ	Ⅱ	1.10	3.50
チゴユリ	Ⅰ	1.00	10.00
チヂミザサ	Ⅱ	3.20	21.75
チャノキ	Ⅰ	1.50	50.00
ツククサ	Ⅰ	0.30	15.00
ナガバジャノヒゲ	Ⅱ	2.30	13.75
ハナタデ	Ⅰ	0.30	10.00
ヒノキ	Ⅰ	0.10	2.00
ヒヨドリジョウゴ	Ⅰ	0.50	20.00
マンリョウ	Ⅰ	0.50	9.00
ミツバアケビ	Ⅰ	0.10	10.00
ムクノキ	Ⅰ	0.50	19.50
ヤブガラシ	Ⅰ	0.30	5.00
ヤブマメ	Ⅱ	1.70	6.33
ヤブラン	Ⅲ	3.40	10.00
ヤマノイモ	Ⅰ	0.30	40.00
種数	35		

47号地の100㎡あたりの上層木の本数、胸高断面積合計値(BA)、胸高直径(DBH)及び、1㎡あたりの下層植生(高さ<1.0m)の被度(%)と高さ(cm)を示す。

表 4. 上層木

種名	本数	DBH (cm)	BA (cm ² /100m ²)
アカシデ	1.0	3.2	6.2
アカマツ	0.2	2.2	0.8
アカメガシワ	6.8	6.3	169.7
アズキナシ	1.2	8.3	71.5
イヌシデ	0.6	4.8	13.3
イワガラミ	0.2	1.3	0.3
ウグイスカグラ	0.4	0.3	0.0
ウワミズザクラ	1.0	1.8	4.5
エゴノキ	0.6	2.7	4.2
エノキ	2.0	3.1	13.5
カシワ	0.2	18.8	15.4
ガマズミ	0.6	2.1	1.6
クリ	0.2	9.6	14.3
コナラ	3.4	12.5	296.2
ゴンズイ	0.4	8.4	11.6
シデ	0.2	1.9	0.6
シラカシ	0.2	6.4	6.4
トウネズミモチ	0.2	7.0	4.1
ナラガシワ	10.6	6.2	402.9
ニセアカシア	17.0	5.8	433.9
ニワウルシ	0.2	6.4	3.2
ヌルデ	3.4	4.5	58.4
ヒメコウゾ	0.6	3.2	5.0
フジ	0.2	1.6	0.4
ホオノキ	0.2	2.9	1.3
マユミ	0.2	1.0	0.1
マルバアオダモ	0.6	3.2	5.0
ムラサキシキブ	0.2	0.6	0.1
ヤマウルシ	3.6	4.7	67.4
ヤマザクラ	2.2	6.2	64.2
リョウブ	0.2	1.6	0.4
種数	31		

表 5. 下層植生

種名	常在度	被度(%)	高さ(cm)
アオキ	I	0.28	10.00
アオツヅラフジ	I	0.08	5.00
アオハダ	I	0.04	7.00
アカメガシワ	I	0.64	32.50
アケビ	I	0.04	8.00
アジサイ?	I	0.08	15.00
アズマネザサ	II	14.40	84.00
イヌツゲ	I	0.40	80.00
オニドコロ	I	0.04	3.00
クサギ	I	0.08	15.00
コナラ?	I	0.08	13.00
サクラ?	I	0.08	35.00
サルトリイバラ	I	0.04	100.00
ジャノヒゲ	I	0.12	12.50
シロダモ	I	0.12	24.00
ススキsp.	I	0.04	25.00
センダン?	I	0.12	12.50
チヂミザサ	I	0.28	15.00
チャノキ	I	0.28	30.00
テイカカズラ	I	0.16	10.00
ナンテン	I	0.12	40.00
ナンバンギセル	I	1.00	15.00
ニセアカシア	I	0.20	42.50
ヌルデ	I	0.08	18.00
ネズミモチ	I	0.08	9.00
ノブドウ	I	0.16	65.00
ヘクソカズラ	I	0.04	10.00
マンリョウ	I	0.20	13.00
ミツバアケビ	I	0.40	65.00
ムラサキシキブ	I	0.20	65.00
ヤブラン	I	0.28	20.00
ヤマウルシ	I	0.80	35.00
ヤマノイモ	I	0.40	37.50
種数	33		
* 1m以上のアズマネザサが全てのコドラートで繁茂			

48号地の100㎡あたりの上層木の本数、胸高断面積合計値(BA)、胸高直径(DBH)及び、1㎡あたりの下層植生(高さ<1.0m)の被度(%)と高さ(cm)を示す。

表 6. 上層木

種名	本数	DBH (cm)	BA (cm ² /100m ²)
アオハダ	0.2	1.9	0.5
アラカシ	0.2	40.8	223.7
イヌツゲ	0.2	1.0	0.1
ウメモドキ	0.3	1.9	1.0
エノキ	0.2	2.9	1.1
ガマズミ	0.2	1.6	0.3
カヤ	0.2	36.6	180.6
コナラ	0.5	41.3	700.4
シュロ	0.2	13.7	25.2
シラカシ	0.3	3.2	2.8
スギ	1.0	33.9	970.8
ネムノキ	0.2	10.8	5.3
ヒサカキ	0.5	8.4	23.8
ヒノキ	1.0	27.7	671.4
ヒマラヤスギ	0.3	60.8	996.6
ムラサキシキブ	0.5	1.5	0.9
モウソウチク	23.7	11.5	2442.2
モチノキ	0.2	16.2	35.5
ヤブツバキ	0.2	11.8	18.7
ヤマウルシ	0.2	4.1	2.3
種数		20	

表 7. 下層植生

種名	常在度	被度(%)	高さ(cm)
アオキ	I	0.2	17.0
アカバナ	I	0.5	15.0
アズマネザサ	I	2.2	21.0
アメリカフウロ	I	0.1	3.0
アラカシ	II	6.7	58.0
イネ科A	I	0.1	38.0
イネ科B	I	0.1	10.0
オオバトシボソウ	I	0.4	24.5
カタバミ	I	2	20.0
ガマズミ	I	0.8	20.0
カンアオイ	I	0.2	8.0
キランソウ	I	0.1	5.0
クスノキ?	I	1	65.0
ケヤキ	I	0.2	20.0
コウヤボウキ	II	11.5	49.0
コスモス	I	0.2	15.0
コナラ	II	0.7	13.8
ジャノヒゲ	II	2.4	10.0
シュロ	I	0.3	35.0
セイトカアワダチソウ	I	0.1	20.0
タチツボスミレ	I	0.2	17.0
タブノキ	I	0.2	20.0
チヂミザサ	I	0.3	7.0
チドメグサ	I	0.1	3.0
ツタ	I	0.6	14.5
ツユクサ	I	0.1	8.0
テイカカズラ	IV	39.2	7.6
トウネズミモチ	I	0.4	30.0
ドクダミ	I	3	14.0
ナガバノコウヤボウキ	I	2	35.0
ナンテン	I	0.2	20.0
ネズミモチ	I	0.3	24.5
ハルジオン	I	0.1	1.0
ヒサカキ	III	10.6	35.0
フジ	I	0.3	25.0
ヘクソカズラ	I	0.7	13.0
ベニシダ	I	1.5	37.0
ホタルブクロ	I	4	25.0
マンリョウ	II	1.8	17.8
モチノキ?	I	1	60.0
ヤツデ	I	0.3	16.0
ヤブガラシ	I	0.5	12.0
ヤブコウジ	I	0.5	10.0
ヤマウルシ	I	2	93.0
ヤマノイモ	I	0.1	7.0
実生?	I	0.1	8.0
種数		46	

49号地の100㎡あたりの上層木の本数、胸高断面面積合計値(BA)、胸高直径(DBH)及び、1㎡あたりの下層植生(高さ<1.0m)の被度(%)と高さ(cm)を示す。

表 8. 上層木

種名	本数	DBH (cm)	BA (cm ² /100m ²)
アオキ	3.4	2.5	14.3
アオハダ	1.6	15.0	105.2
アラカシ	1.2	3.6	14.5
ウワミズザクラ	0.2	8.9	12.5
エゴノキ	0.8	19.4	202.0
クヌギ	0.2	24.8	96.9
ケヤキ	0.6	27.2	290.0
コナラ	2.6	43.0	3093.7
シュロ	1.2	12.0	142.7
シラカシ	14.8	6.0	660.1
シロダモ	0.8	3.3	16.0
スギ	1.2	11.8	164.5
ツバキ	0.2	7.6	9.2
ツルグミ	0.2	3.5	1.2
ネズミモチ	0.6	3.4	7.0
ヒサカキ	13.4	5.8	325.9
ヒノキ	0.6	13.9	123.3
フジ	0.6	4.6	12.4
マユミ	0.2	6.1	3.1
ムクノキ	1.6	7.2	87.4
ムラサキシキブ	0.6	4.5	5.6
モウソウチク	0.6	3.5	6.0
ヤツデ	0.2	1.6	0.4
ヤブツバキ	0.2	2.5	0.5
種数	24		

表 9. 下層植生

種名	常在度	被度(%)	高さ(cm)
アオキ	Ⅱ	1.76	27.88
アズマネザサ	Ⅱ	6.68	28.13
オオバジャノヒゲ	I	0.08	10.00
キチジョウソウ	I	0.60	10.00
キツタ	I	0.08	5.00
クサギ?	I	0.08	7.00
コナラ	I	0.08	12.00
ジャノヒゲ	Ⅱ	0.96	12.56
シラカシ	I	0.28	13.50
シロダモ	I	0.16	16.00
チャノキ?	I	0.08	15.00
ツタ	I	0.12	6.50
テイカカズラ	Ⅳ	21.04	10.53
ニワトコ	I	0.60	55.00
フジ	Ⅱ	0.56	14.29
ムクノキ	I	0.04	7.00
ヤブラン	I	0.20	15.00
実生?	I	0.04	10.00
種数	18		

50号地の100㎡あたりの上層木の本数、胸高断面積合計値(BA)、胸高直径(DBH)及び、1㎡あたりの下層植生(高さ<1.0m)の被度(%)と高さ(cm)を示す。

表 10. 上層木

種名	本数	DBH (cm)	BA (cm ² /100m ²)
アオギリ	0.1	4.5	0.9
アオハダ	0.2	10.8	19.0
アカメガシワ	0.7	1.8	1.9
アラカシ	0.1	1.0	0.1
アンズ?	0.2	1.6	0.4
イヌザクラ	0.1	30.3	41.2
イヌシデ	0.1	26.4	63.0
イヌツゲ	0.2	1.4	0.3
イロハモミジ	0.1	8.9	3.6
ウメドク	0.1	1.4	0.2
ウワミズザクラ	1.0	10.6	169.1
エゴノキ	0.3	2.5	2.3
エノキ	0.2	5.0	10.5
ガクアジサイ?	0.1	1.6	0.1
キハギ	0.6	0.3	0.0
クヌギ	0.2	22.2	72.5
クリ	0.2	20.8	59.0
ケヤキ	0.3	10.1	33.6
コナラ	1.5	22.1	833.7
ゴンズイ	0.3	1.6	1.1
シュロ	0.3	21.4	125.1
シラカシ	1.0	2.0	3.7
スギ	0.2	39.1	225.0
タラノキ	0.3	1.8	1.0
タラノキ?	0.1	5.7	1.5
ナツツバキ?	0.3	2.3	1.8
ニガキ?	0.1	18.5	15.4
ヒノキ	0.2	33.7	153.1
ビワ	0.1	1.9	0.2
ムクノキ	0.2	1.4	0.3
ムラサキシキブ	0.1	1.3	0.2
ヤマツツジ	1.1	1.8	3.3
種数		32	

表 11. 下層植生

種名	常在度	被度(%)	高さ(cm)	種名	常在度	被度(%)	高さ(cm)
アオハダ?	I	0.15	40.00	バラ科園芸?	I	0.10	20.00
アケビ	I	0.75	10.00	ヒサカキ	I	0.20	27.50
アズマネザサ	V	9.10	29.69	ヒサカキ?	I	0.05	10.00
イヌザクラ	I	0.75	26.67	ヒメジョオン	II	3.40	77.50
イヌツゲ	I	0.55	17.50	ヒメムカシヨモギ	II	0.30	14.00
ウグイスカグラ	I	0.30	45.00	ブタナ	III	11.10	35.00
ウワミズザクラ	I	0.10	25.00	ヘクソカズラ	IV	10.85	21.57
エノキ	I	0.20	7.67	ヘビイチゴ?	I	0.75	10.00
オオアレチノギク	I	1.00	50.00	ホタルブクロ	I	3.00	25.00
オオキンケイギク	I	0.25	43.00	ホタルブクロ白花	I	4.00	25.00
オオバギボウシ	I	0.60	68.00	ホトギス	I	0.25	15.00
オオバコ?	I	0.75	20.00	マンリョウ	I	0.05	3.00
オカトラノオ	I	0.75	55.00	ミツバアケビ	I	0.05	15.00
オッタチカタバミ	I	1.00	15.00	ムクノキ	I	0.05	15.00
オッタチカタバミ?	I	1.05	18.00	ムラサキカタバミ	I	0.05	15.00
オニタビラコ	I	0.40	25.00	ムラサキシキブ	I	1.30	28.33
オニドコロ	I	0.20	16.00	メキシコマンネングサ	I	0.10	5.00
オニノゲシ	I	0.30	53.33	ヤブガラシ	I	0.75	20.00
カタバミ?	I	0.20	3.00	ヤブコウジ	I	0.55	5.00
キツタ	I	0.10	5.00	ヤブミョウガ	I	0.15	25.00
コナラ	II	0.55	15.00	ヤマウルシ	I	0.50	20.00
ゴンズイ	I	0.20	11.00	ヤマツツジ	I	0.30	8.50
ジャノヒゲ	III	11.30	11.64	ヤマノイモ	I	0.80	7.67
スイカズラ	II	2.15	9.60	ヤマブキ	I	0.05	15.00
スゲ?	I	3.50	10.00	ヤマユリ	I	0.20	20.00
スゲsp.	II	0.20	13.57	ユリ?(一枚葉)	I	0.05	10.00
セイヨウタンポポ	I	0.10	15.00	種数	65		
タケニグサ	I	4.00	70.00				
タチツボスミレ	II	0.45	10.25				
タラノキ	I	4.25	40.00				
チヂミザサ	II	1.65	11.14				
ツタ	I	0.10	10.00				
ツユクサ	I	0.25	25.00				
テイカカズラ	I	0.10	5.00				
ナンテン	I	0.05	7.00				
ニガナ	II	1.25	27.50				
ヌルデ	I	1.75	45.00				
ノイバラ	I	0.25	15.00				
ノブドウ	I	0.05	20.00				